

企画名	手賀沼もっと知ろう！ 手賀沼流域の水調べと手賀沼船上見学会
実施団体	団体名 手賀沼流域フォーラム松戸実行委員会 問合せ先 中岡 丈恵 TEL&FAX： 047-385-8950 Email： naka.hta@kzc.biglobe.ne.jp
目的	家庭から流した水が排水となり手賀沼に行く様子を調べて生活排水の事を学ぶ
日時	2020 年 8 月 22 日（土） 9:00～16:00
プログラム・概要・ルート等	【事前学習会】 六実市民センター3 階会議室 1) 配付資料は、川の水調べ用CODの試薬を高濃度、低濃度各5袋、調べて記入する用紙、資料・昔の六実、川の地図等をセット。 2) 例年検査をしていたポイントは、猛暑とコロナ禍の為に環境課で事前に現場調査をして各ポイントの検査項目5ヶ所を記入済。 3) 事前学習では、特にCOD試薬の扱いに注意をして保護者に使用後の処理などの説明をした。 【マイクロバス乗車】 1) 水調べ ・ポイント①県立鎌ヶ谷西高校脇の用水路⇒パックテストなど5項目の水質検査 2) 昼食 手賀沼親水広場 水の館 3) 船上学習 ・水調べ地点「手賀沼中央」⇒5項目の水質検査、ヘドロ採取・観察 ヘドロを始めて見るこどもたちはおそるおそるだった。 ・水調べ地点「根戸下」（大津川河口近く）⇒同上 「六実～大津川へと流れた水がここに来るよ！！」と知らせると、ヘドロや透視度計を見る目が真剣でした。 ・生き物調べ⇒ハクレンの大、小が船にバシバシとぶつかりすごい音でみんなが驚いたり喜んだりしていた。
参加対象	小学生4年生以上（保護者同伴）から大人
参加人数	一般参加 12 名 小4年5名、小5年1名、保護者6名 会員スタッフ 5 名（会員2名、松戸市環境保全課3名）
	
水調べポイント①水質検査（県立鎌ヶ谷西高校脇） 水調べ 手賀沼船上学習（手賀沼中央・根戸下）	
参加者や実施団体の感想	参加者のアンケート集計一部・今回のイベントの満足度は満足2とおおむね満足4 ・家に帰って色々と調べてみようと思う ・水調べを踏まえて、環境に出来ることの提案があると良い。 ・船の窓が網戸の方が、スリルがあって良い。 ・船に乗れて楽しかった 毎年猛暑の時期でさらに今年はコロナの感染の事があり水の旅開催ができて良かったです。コロナでの開催に松戸市よりバス2台を用意していただき万全な準備に感謝申し上げます。

企画名	鎌ヶ谷市内（大津川流域）でお米を収穫しよう
実施団体	団体名 鎌ヶ谷・大津川を清流にする会 問合せ先 代表 井上 毅 TEL： 080-6520-3118 Email： sprh8cy9@galaxy.ocn.ne.jp
目的	米作りをしている団体とコラボレーションし、お米の収穫作業を通じて、水辺環境保全の重要性を知るとともに、清掃活動と一緒に清浄化に向けた活動を体験する。
日時	2020 年 9 月 27 日（日） 9:30～12:00
プログラム・概要・ルート等	9:00 スタッフ集合（北部公民館玄関前）、会場準備（大津川母路橋周辺） 9:30 開会 主催者及び各団体代表あいさつの後、会場へ移動 10:00 ①講師：鎌ヶ谷・大津川を清流にする会 遊歩道のウッドデッキで、大津川の変遷をパネル展示、清浄化に向けた清掃活動を実演 ②講師：かば田んぼの会 昭和30年代頃の収穫作業（足踏み脱穀機、唐箕等）の体験 11:10 参加者の皆さんと一緒に全員で清掃活動を体験。 11:20 講座のまとめ 11:30 北部公民館へ移動（参加者自由解散）
参加対象	市内在住の小学生 ※保護者同伴
参加人数	一般参加 12 名（小学生 5 名、未就学 2 名、保護者 5 名） 会員スタッフ 22 名（会員 17 名、市職員 4 名、事務局 1 名）計 34 名
 環境保全のお話を  これなら、私もできます  足踏み脱穀機  唐箕って、何！  重い竿を使って清掃活動体験  みんなできれいに	
参加者や実施団体の感想	お米を収穫する体験を通じて、水辺環境の保全の重要性が良く理解されたと思う。脱穀作業については、子供たちの関心が高かった。また、会の活動である清掃活動についても、その意義について知ってもらえたと思う。後日、鎌ヶ谷市立北部小学校から講師として会が招かれ、児童等に大津川の環境保全の重要性をお話することにつながった。今後も活動を通じて、多くの人たちに周知していきたい。

企画名	竹炭・華炭を焼こう～間伐した竹や木の実を使って～		
実施団体	団体名 栗野の森の会 問合せ先 代表 小出 達雄 TEL: 090-6309-4379 Email: tatutojun@ozzio.jp		
目的	森や低湿地を侵蝕する竹の間伐し、拾った木の実なども落ち枝を燃料に焼いて、炭を作りながら、自然と親しむことを目的とする。		
日時	2020 年 11 月 14 日 (土) 9:30～12:00		
プログラム・概要・ルート等	(炭 材) ①間伐したマダケ ②テーダマツ ③ヤブツバキ ④モミジバフウ ⑤ハス ⑥クリのいが (燃 料) ①間伐した枯れたマダケ、シラカシなど ②森で拾い集めたスギ、コナラなどの落ち枝 (手 順) ①5 グループに分け、それぞれ一斗缶に新聞紙や枯枝を使って火をつける。 ②炭材を缶につめ、ふたが開かぬよう重しを乗せる。煙をみながら強火で蒸し焼きにする。 ③煙が出なくなった缶が冷めてから炭になったものを取り出す。 ④籠に盛りつけます。 飾り付け完成作品 		
参加対象	どなたでも (小学生以下は保護者同伴)		
参加人数	一般参加 20 名 (大人 15 名、幼児 2 名、小学 3 名) 会員スタッフ 16 名 (会員 14 名、市環境課 2 名)		
   ①本日のメニュー ②やり方を聞きながら火をつけます ③窯の火を見守ります			
   ④見事に焼き上がっています ⑤飾り付けて出来上がり ⑥貴重な体験に、感激しながら記念撮影			
参加者や実施団体の感想	初めて落ち枝を燃やすという方が多く、火力を強火に維持するため夢中で燃やし続けた2時間弱でした。缶のふたをあけ、煙の中から見えてきた炭を見て、「こんな缶で、こんな短時間で炭になるなんてクリのいががそのまま炭になるなんて」と、皆さんおどろきの声を上げていました。どのグループも6種類の炭が見事に完成しました。子ども達の喜ぶ姿が見られました。参加者からは、昔のことを思い出しますとの感想が聞かれました。 		



企画名	亀成川流域里山散策会 「ケビンさんと里山生きもの観察」
実施団体	団体名 NPO 法人亀成川を愛する会 問合せ先 NPO 法人亀成川を愛する会 事務局 TEL：080-3594-6267 Email：kamenarilove@yahoo.co.jp ホームページ：http://www.kamenari-love.com/
目的	亀成川流域の里山には、貴重な生態系と豊かな生物多様性が残っている。小学生のお子さんや保護者の方々に、実際に歩いてみて、実感していただく。また、里山の保全活動を体験し、この一帯の自然に親しみ、関心を持ってもらう。
日時	2020年11月1日（日）9:30～12:00
プログラム・概要・ルート等	集合場所 印西市牧の原地域交流センター 駐車場 9:15 受付開始 コロナ対策として、検温、アルコール消毒を参加者をお願いする。 9:30 開会 挨拶（副理事長）、本日の活動内容と注意事項の説明 9:45 調節池東側園路を通り、作業現場に移動。 10:00 作業現場到着 ヘルメットを着用し、落ち枝を集め、恐竜の巣作りをする。 10:15 観察会講師のケビン・ショートさん登場 子どもたちひとりひとりにケビンさんから観察キットのプレゼントあり。 観察開始！調節池東側園路→緑地との境の園路→池西側園路→別所緑地西側→古新田川上流部→ここから折り返し→牧の原地域交流センター 12:00 観察会終了
参加対象	小学生から大人
参加人数	一般参加 22名 （大人10名、子ども12名） 会員スタッフ 12名 （会員11名、講師1名）
   倒木の片付けをがんばりました。 ケビンさんから観察の仕方を伝授 虫眼鏡でじっくり観察	
   葉っぱの中になにがいる？ 足踏み脱穀機で脱穀の様子を見学 参加者集合	
参加者や実施団体の感想	- 子どもたちは生き物に興味津々で、行く先々で虫眼鏡を使ってじっくり観察し、それを手帳に写生したり、保存袋に入れたり、ケビンさんに教えてもらったことを実行していました。おかげでなかなかスケジュールどおりに進まず、苦勞しました。 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の募集は、例年より定員を大幅に減らし、20名としました。密にならないように心がけましたが、子どもたちにとっては大変難しいことでした。